



わくわくひろば もあ通信

2025年
10月1日発行



子育てお役立て情報 『子どもの気持ちに寄り添う part2』 赤ちゃんとのコミュニケーションをとろう



☆コミュニケーションの始まりでもある、生後2か月頃から出てくる「あ〜」「う〜」といったクーイング。

自分の声を耳で聞いてあそんでいて、機嫌が良い時に聞かれます。

クーイングに反応し音まねをしたり話しかけたりすると、赤ちゃんは嬉しくて笑ったりたくさん声が出てくるでしょう♪



☆「あああ〜」「まままま」「ぱっぱっぱ」といった喃語（なんご）も、ご機嫌の時に聞かれます。

目を合わせながら適度なタイミングで繰り返したり語りかけたりすると赤ちゃんは安心し、心地よさを覚えます。

この心地よさは、赤ちゃんとの心を通わせるチャンスです。

☆10ヶ月くらいからは指差しをして欲求や気持ちを伝えようとしています。

「あれ見て」「それ取って」「これ欲しい」などの要求には大人が言葉を添えて、「お花きれいだね」「このおもちゃであそびたいの?」など視線を合わせて心を寄せてしっかりと反応しましょう。

その時の大人の反応を、子どもはじっくりみえていますよ♪



赤ちゃんが泣くのは、伝えたい事があるからです。大人は赤ちゃんが泣くたびにどうしたのかな? おむつがぬれたのかな? と気にかけるように、この関わりが人と人とのコミュニケーションの土台を作っていきます。



機嫌が悪くて泣いている…眠たいかな? お腹が空いたかな? それともおむつがぬれたかな? かな?

眠たいのに眠れず泣いている…ゆったりとした曲をかけてみようかな? 添い寝がいいかな? 抱っこで寝たいかな? かな?

赤ちゃんの泣きは生理的な欲求を訴えている事がほとんどですが、赤ちゃんが成長するにつれて訴える理由も様々です。時には理由がわからず自分でも処理できない不快や困難による「泣き」もある事を頭に入れておくと良いかもしれません。

“泣き”には理由があります。まだ言葉で思いを伝える事の出来ない頃の、泣きやしぐさなどのサインから気持ちをじっくり読み取って考えてみてはどうでしょうか。



10月28日(火) 子育てひろば

大津緑洋高等学校 日置校舎

会場 体育館 10:00~12:00

高校生との交流は10:45~1時間程度です

日置校舎のお兄さんお姉さんと交流してみませんか??

体育館で遊べるよ~♪



おべんとうばこに湯気の立つ ホカホカごはんを詰め、あつあつミートボール、印子焼き、タコさんウインナー...と定番おかずを次々に詰めていきます。彩りよくできあがったおべんとう! 「うわぁ おいしそう!」と思わず 顔がほころびます。耳から入ってくる ことばのリズムが心地よくページをめくると目に飛びこんでくる 色鮮やかな おかずたちにうきうきします。最後のページは、かわいいうたがまんにおべんとうばこ。本を開くとき、作ってくれた人の温かさが残ります。おでかけにくなる季節、おすすめ一冊です。(担当)